

小型の自動運転バスによる体験乗車を実施します

横浜市は、国内外の様々な企業・機関と連携を図りながら、オープンイノベーションにより付加価値の高い製品・サービスの開発や新たなビジネスの創出、新技術を活用した社会課題解決に取り組んでいます。

その一環として、相鉄バス株式会社及び横浜市は、小型バスを用いた自動運転の走行実証を令和6年4月1日から4月5日まで実施します。期間中は事前予約不要で体験乗車ができます。

※今回は実証実験のため、同じ停留所での乗降となります。

本走行実証において、車両位置を制御するための通信に新技術を使用し、より安定的なバスの制御に寄与する実験を行うことで、自動運転の活用による地域課題の解決を目指してまいります。

実施概要

期 間	令和6年4月1日(月)～令和6年4月5日(金) 運行時間 10:30～16:00 (30分間に1往復程度運行)
場 所	よこはま動物園 (ズーラシア) 正門5番バス停から、北門バス停を經由し、正門バス停まで約10分かけて1周するルートを走行します。(約2km) ※裏面参照
体験乗車	事前予約不要で、一般の方もご乗車いただけます。 ※今回は、里山ガーデンには停車せず、乗車場所と同じ場所での降車となります。 ※お客さまが定員に達した際は、ご利用いただけない場合がありますので、ご了承ください。 ※天候等の影響などにより、手動運転に切り替えて走行する場合がございます。
使用車両	先進モビリティ株式会社所有の小型バス (日野自動車製「ポンチョ」) 1台 ※裏面参照
内 容	小型バスには、カメラや周辺の障害物を検知するセンサーシステムと、複数の自己位置推定技術を搭載して走行実証します。 併せて、遠隔監視システムにより、運行中の車両の走行状況や車内外映像を把握し、実際の運行に耐えられるシステム構築に努めます。
実施体制	実証実験主体：相鉄バス株式会社 車両提供：先進モビリティ株式会社 遠隔制御システム開発：株式会社東海理化

取材について

取材・撮影対応は、相鉄バスの以下連絡先に直接お問い合わせいただけますようお願いいたします。

お問合せ先		
【実証実験支援に関すること】経済局産業連携推進課長	岩船 広	Tel 045-671-2574
【自動運転に関すること】相鉄バス 企画・安全部	宮田 信弘	Tel 045-319-2346

運行内容について

運行区間

よこはま動物園（ズーラシア）正門
5番バス停から、北門バス停を經由して、正門バス停まで1周します。
※里山ガーデン会場には行きません。

利用料

無料

乗車定員

10名(着席のみ)

最高速度

時速30km

運行予定時刻

よこはま動物園正門5番バス停 発

時	分
10	30
11	00 30
12	00 30
13	00
14	30
15	00 30
16	00



使用車両について

小型バスには、蛇行や急ブレーキのない、自動運転プログラム通りの走行実証のため、車両位置を推定する技術として、従来から使用されているGNSS（※1）スキャンマッチング（※2）に加え、UWB（※3）無線を搭載し、その有効性を確認します。その他にLiDAR、カメラ、ミリ波レーダーなどのセンサーシステムにより障害物を検知し、安全、安心な自動走行を実現します。

また、1車両にカメラ7台（車外6台+車内1台）を搭載、カメラの映像を遅延なく遠隔監視センターへ送信し、運行中の車両の走行状況や車内外状況を把握し監視します。

1台のカメラモジュールを使用して、監視者が遠隔監視システムで乗客を見守るビューイング用途と、乗客の不安全姿勢等を判定するセンシングの2つの役割を実現し、実際の運行に耐えられる遠隔システムの構築を目指します。



▲車両イメージ

※1 GNSS・・・“Global Navigation Satellite System”の略で、人工衛星による測位システムのこと。

※2 スキャンマッチング・・・3次元点群地図を用いた自己位置推定手法のこと。

※3 UWB・・・“Ultra-Wide Band”の略で、超広帯域のこと。